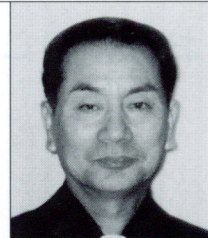


お祝いの辞

鵜飼 慶司

IDSF 理事, JDSF 常務理事

ADSF 会長



青柳幸雄先生が50年のダンス生活を通して、多くの方々の健康と福祉に貢献されて参られましたことにより、親しまれ、愛され、尊敬されて、今日、ここに「青柳幸雄踏歴50周年記念パーティー」が盛大に催されますことを、お祝い申し上げます。

先生には、私も学生時代の45年程前より、公私にわたりご指導、ご助言を賜って参り、ひとかたならぬ感謝の気持ちを持ち続けて参りました。また、その間、学連現役、OB、OGにも、営業を度外視してのお世話を頂いたことにも、深く感謝いたしております。

温和で且つきめ細かな心遣い、相手のことを思う気持ち、思いやり、手抜きをされることの無い真剣な指導、卓越された透視力による常に適格な助言、その一方、技術においては一徹なところもありそれなりのエピソードもあるというところが先生の特徴でしょうか。そのことにより多くの方々から親しまれ、尊敬されておられることは言うまでもありません。

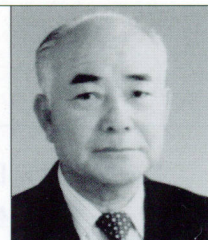
今は、更にご多忙な要職にあられると伺っております。ご自身、健康に一層留意されての益々の貢献を皆様と共に期待していることをお伝えする次第であります。

友愛の絆で50年

久泉 一春

愛知県プロ・ダンス・インストラクター協会

会長



青柳幸雄先生、踏歴50周年誠におめでとうございます。一口に50年と言いますが、私共人間にとっては大変な長さであります。

さて、今は亡き、先生のお父上は、中部総局長を永年務められ、更に財団法人日本ボールルーム連盟の相談役であられました。「名古屋の青柳武男」といえば全国的に名が通っておられました。私共が今日あるのは、まさに先生から熱心にしっかりとご指導いただいた賜物であります。

初代が大活躍をされますと、二代目はなかなか難しい立場にたたされるものです。その難しい立場を先生は見事に乗り越えられました。私が幸雄先生を心から尊敬申し上げている点は、父上のご活躍を謙虚に受け止められて、この50年の長きにわたり、誠実かつ着実に日々ダンスの練習に励まれ、各種競技会ではその都度中部チャンピオンとして優秀な成績を収められ、またその間には研鑽のためにイギリスへも勉強に行かれて今日の佳き日を迎えられたことでもあります。

今、幸雄先生と共に歩いた50年の間のいろいろな出来事が思い出されます。あの若き選手会の頃、先生と私達で競技会の資料を手刷りで朝まで一睡もせずに作成したり、フォーメーションの練習をしたり、ダンスについて熱く語ったことなど今は懐かしい思い出です。

今後もどうか健康に留意されまして、ますますダンス界の発展にご尽力下さることを願うと同時に、幸雄先生多美子先生ご夫妻との友情が、末永く続くことを確信しまして、私のお祝いの言葉と致します。